



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 名

上場会社名 中央紙器工業株式会社
コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 神谷 兼弘
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 南谷 登志宏

TEL 052-400-2800
平成27年12月8日

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,777	△3.0	450	△12.6	481	△11.8	310	△9.6
27年3月期第2四半期	5,958	△2.1	515	△11.9	546	△11.4	343	△9.2

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 256百万円 (△29.1%) 27年3月期第2四半期 361百万円 (△31.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	62.57	—
27年3月期第2四半期	69.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	12,391	10,551	85.1
27年3月期	12,507	10,394	83.1

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 10,551百万円 27年3月期 10,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,800	△3.9	950	△2.9	1,000	△3.0	580	△8.0	116.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	5,225,008 株	27年3月期	5,225,008 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	257,511 株	27年3月期	257,511 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	4,967,497 株	27年3月期2Q	4,967,759 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果により、景気は、緩やかな回復基調を続けている一方、中国をはじめとするアジア新興国等の経済動向や欧州問題などの懸念要因もあり、先行き不透明な状況となっております。

このような経済環境の中で、国内の段ボール需要については、通販・宅配分野と夏場の猛暑の効果が大きかった飲料および家電分野で、前年を上回る状況となりましたが、全体としてはほぼ横這いで推移いたしました。

また、当社進出先である中国においては、景気の減速感が続き、中国へ進出する企業が生産拠点を移管するなど、依然として厳しい状況となりました。

このような状況下において、当社グループは、お客様への訪問活動の強化による信頼関係の構築やご要望へのスピーディーな対応、的確な包装設計提案を行い、新規顧客の獲得および既存のお客様への拡販に努めてまいりました。

また、生産リードタイム短縮をはじめとする生産工程改善や輸送効率の向上などの原価低減活動を行うとともに、持続的な成長に向け、商品開発に注力し、2015年日本パッケージングコンテストでは13年連続で受賞することができました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、主要販売先である自動車・電気機械関連の売上減、中国での取引先の生産拠点移管の影響等により、売上高は57億77百万円（前年同四半期比3.0%減）、営業利益4億50百万円（前年同四半期比12.6%減）、経常利益4億81百万円（前年同四半期比11.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億10百万円（前年同四半期比9.6%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、売上高は46億76百万円（前年同四半期比5.6%減）、セグメント利益4億24百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

中国は、取引先の生産拠点移管の影響があるものの、円安による押し上げ効果もあり、売上高は11億1百万円（前年同四半期比9.4%増）となりましたが、利益については、セグメント損失23百万円（前年同四半期はセグメント利益8百万円）となりました。

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度に比べ1億15百万円減少し123億91百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度に比べ37百万円減少し89億85百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が前連結会計年度に比べ1億円減少し22億81百万円となったことによるものです。固定資産は、前連結会計年度に比べ78百万円減少し34億6百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度に比べ2億72百万円減少し18億40百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度に比べ2億50百万円減少し12億71百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度に比べ22百万円減少し5億68百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度に比べ1億56百万円増加し105億51百万円となりました。これは、主に利益剰余金が2億11百万円増加し81億1百万円となったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表いたしました決算発表時の通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

なお、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済情勢、事業運営等の状況変化により、実際の業績は記載の予想数値と異なる可能性があります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	12,700	1,100	1,150	750	150.98
今回予想値 (B)	11,800	950	1,000	580	116.76
増減額 (B-A)	△900	△150	△150	△170	△34.22
増減率 (%)	△7.1	△13.6	△13.0	△22.7	△22.7
(ご参考) 前期実績	12,278	978	1,031	630	126.97

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,390,265	6,436,031
受取手形及び売掛金	2,381,776	2,281,104
商品及び製品	104,352	100,685
仕掛品	13,400	14,129
原材料及び貯蔵品	41,847	52,089
その他	91,936	101,697
貸倒引当金	△205	△205
流動資産合計	9,023,373	8,985,532
固定資産		
有形固定資産	2,121,577	2,083,480
無形固定資産	28,300	25,816
投資その他の資産	1,334,483	1,296,980
固定資産合計	3,484,361	3,406,277
資産合計	12,507,735	12,391,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	864,783	781,054
未払法人税等	169,814	162,862
賞与引当金	122,506	108,882
役員賞与引当金	27,400	16,430
その他	337,622	202,712
流動負債合計	1,522,126	1,271,940
固定負債		
役員退職慰労引当金	93,200	99,620
退職給付に係る負債	407,684	410,771
その他	89,900	57,969
固定負債合計	590,785	568,360
負債合計	2,112,911	1,840,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	7,889,770	8,101,246
自己株式	△71,510	△71,510
株主資本合計	9,876,717	10,088,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421,837	358,522
為替換算調整勘定	96,268	104,791
その他の包括利益累計額合計	518,105	463,314
純資産合計	10,394,823	10,551,507
負債純資産合計	12,507,735	12,391,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,958,617	5,777,383
売上原価	4,473,146	4,320,828
売上総利益	1,485,471	1,456,555
販売費及び一般管理費	969,982	1,005,989
営業利益	515,489	450,565
営業外収益		
受取利息	279	1,125
受取配当金	11,789	15,286
持分法による投資利益	1,441	419
仕入割引	3,787	3,802
その他	14,012	12,420
営業外収益合計	31,310	33,054
営業外費用		
売上割引	209	235
投資有価証券評価損	449	—
為替差損	—	1,813
その他	67	21
営業外費用合計	726	2,069
経常利益	546,073	481,550
税金等調整前四半期純利益	546,073	481,550
法人税、住民税及び事業税	208,803	175,042
法人税等調整額	△6,442	△4,318
法人税等合計	202,361	170,724
四半期純利益	343,712	310,825
親会社株主に帰属する四半期純利益	343,712	310,825

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	343,712	310,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,620	△63,314
為替換算調整勘定	△24,279	6,957
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,679	1,565
その他の包括利益合計	17,661	△54,791
四半期包括利益	361,373	256,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,373	256,034

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,951,923	1,006,694	5,958,617	—	5,958,617
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,951,923	1,006,694	5,958,617	—	5,958,617
セグメント利益	463,889	8,321	472,211	43,277	515,489

(注) 1. セグメント利益の調整額43,277千円には、セグメント間取引消去52,069千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,676,337	1,101,046	5,777,383	—	5,777,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,676,337	1,101,046	5,777,383	—	5,777,383
セグメント利益又は損失(△)	424,291	△23,117	401,174	49,391	450,565

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額49,391千円には、セグメント間取引消去52,273千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

1. 当期（平成28年3月期 第2四半期累計）の連結業績

(1) 連結経営成績・・・今決算減収減益

(単位:百万円)

	当第2四半期 (27.4.1~27.9.30) (第65期)		前年同四半期 (26.4.1~26.9.30) (第64期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	5,777	100.0%	5,958	100.0%	△181	△3.0%
営業利益	450	7.8%	515	8.7%	△65	△12.6%
経常利益	481	8.3%	546	9.2%	△65	△11.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	310	5.4%	343	5.8%	△33	△9.6%
1株当たり 四半期純利益	62.57 円		69.19 円		△6.62 円	

連結決算対象会社

- ・子会社 4社 (中央興産株式会社、中央コンテ株式会社、
香港中央紙器工業有限公司、CHUOH PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.)
- ・持分法適用会社 4社 (MC PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.、宏冠實業(香港)有限公司、
澤邦發展有限公司、東莞宏冠包装印刷科技有限公司)
- ・売上高の連単倍率 1.24 倍

《減収要因》 主要取引先である自動車・電気機械関連への出荷が減少したことからの売上減、また、中国での取引先の生産拠点が他国へ移管された影響もあり減収となった。

(新規顧客獲得 19社 14百万円)

・業種別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (27.4.1~27.9.30)		前年同四半期 (26.4.1~26.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
自動車関係	3,687	63.8%	3,813	64.0%	△126	△3.3%
電気機械関係	1,617	28.0%	1,656	27.8%	△39	△2.4%
食品関係	143	2.5%	126	2.1%	17	13.6%
その他	330	5.7%	363	6.1%	△33	△9.3%
合計	5,777	100.0%	5,958	100.0%	△181	△3.0%

・品目別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (27.4.1~27.9.30)		前年同四半期 (26.4.1~26.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
段ボール製品	4,560	78.9%	4,635	77.8%	△75	△1.6%
(段ボールケースほか)	(4,383)	(75.9%)	(4,426)	(74.3%)	(△43)	(△1.0%)
(三層段ボールケースほか)	(177)	(3.1%)	(209)	(3.5%)	(△32)	(△15.2%)
その他(化成品ほか)	1,217	21.1%	1,323	22.2%	△106	△8.0%
合計	5,777	100.0%	5,958	100.0%	△181	△3.0%

《増減益要因：対前期営業利益》

増益要因	・ ・ ・ ・	74 百万円
①収益改善		
②購入品価格変動の効果		
③為替変動による効果		
減益要因	・ ・ ・ ・	△139 百万円
①売上減による影響		
②製品価格変動の影響		
③固定費の増		
営業利益		△65 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
平成28年3月期 第2四半期	12,391	10,551	85.1	2,124.11
平成27年3月期	12,507	10,394	83.1	2,092.57

2. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当金総額 (年間) 百万円	配当性向 (連結) %	純資産配当率 (連結) %
	第2四半期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭			
平成28年3月期 (予想)	20.00	20.00	40.00		34.3	
平成27年3月期	20.00	20.00	40.00	198	31.5	2.0

3. 通期(平成28年3月期)連結業績予想

通期業績予想については、平成27年5月11日に公表したものを修正しております。

減収減益 予想

(単位:百万円)

	通期予想(平成28年3月期)		前期(平成27年3月期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	11,800	100.0%	12,278	100.0%	△478	△3.9%
営業利益	950	8.1%	978	8.0%	△28	△2.9%
経常利益	1,000	8.5%	1,031	8.4%	△31	△3.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	580	4.9%	630	5.1%	△50	△8.0%
1株当たり 当期純利益	116.76 円		126.97 円		△10.21 円	

重点取組事項

1. 売上の拡大(新規・拡販)
2. コスト競争力の強化
3. 中国事業の強化